

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	北九州市における安全・安心な住宅・住環境の整備（防災・安全）（第2期）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）									重点配分対象の該当			
交付対象	北九州市												
計画の目標	(1) 良質な住宅ストックの形成 (2) 安全安心で快適に居住できる住宅供給の促進 (3) 緊急性の高い施設の安全性の向上												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	7,742	A	6,934	B	0	C	808	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	10.43	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成27年		平成31年
1	①耐震性が確保された住宅の割合 ①住宅・土地統計調査や事業実施状況をもとに算出する （耐震性が確保された住宅の割合）＝（耐震性が確保された住宅数）／（全住宅数）（％）	84%	%	93%
2	②住環境に対して満足している市民の割合 ②住生活総合調査から算出する （住環境に「満足している」及び「まあ満足している」と答えた市民の割合）（％）	66%	%	67%
3	③市営住宅の耐震化率 ③事業実施状況をもとに算出する （耐震性が確保された市営住宅の割合）＝（耐震性が確保された市営住宅棟数）／（全市営住宅棟数）（％）	80%	%	93%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		種別	種別	対象	間接							H27	H28	H29	H30	H31					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	北九州市	直接	北九州市	—	—	地域住宅計画に基づく事業	公営住宅等ストック総合改善事業ほか	北九州市	■	■	■	■	■	5,472		策定済		
		小計																5,472			
住環境整備事業	A16-002	住宅	一般	北九州市	直接	北九州市	—	—	北九州学術・研究都市住宅市街地基盤整備事業	河川整備（一級河川：江川）	北九州市	■	■	■	■	■	930		—		
		小計																930			
河川事業	A03-003	河川	一般	北九州市	直接	北九州市	—	—	（二級河川）撥川住宅地 地盤特定治水施設等整備事業（都市基盤河川改修事業）	L=320m、護岸、掘削	北九州市	■					30		—		
		小計																30			
住環境整備事業	A16-004	住宅	一般	北九州市	直接	北九州市	—	—	住宅・建築物安全ストック形成事業	耐震診断・改修等	北九州市	■	■	■	■	■	425		—		



C 効果促進事業																						
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
		種別	種別	対象	間接							H27	H28	H29	H30	H31						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
地域住宅計画に基づく事業	C15-001	住宅	一般	北九州市	直接	北九州市	—	—	公営住宅等整備推進事業	市営住宅整備事業等に伴う造成・駐車場整備等	北九州市					■	0		策定済			
		公営住宅等整備事業（基幹事業）に伴う造成・駐車場整備等を行うことで、市営住宅整備事業の円滑な推進と居住環境の向上を図り、住宅セーフティ機能の一層の充実を実現																				
	C15-002	住宅	一般	北九州市	直接	北九州市	—	—	公営住宅等機能向上事業	市営住宅等のエレベータ改修工事、長寿命化基礎調査・工事等	北九州市		■					45		策定済		
		公営住宅等ストック総合改善事業（基幹事業）と合わせ、基幹事業の対象要件に満たない市営住宅等の改良工事を行うことで、既存ストックのさらなる良質化を実現																				
											小計							45				
住環境整備事業	C16-003	住宅	一般	北九州市	間接	民間	—	—	良質住宅ストック形成推進事業	民間木造住宅に対する耐震設計及び耐震改修工事費用等の補助	北九州市	■	■	■	■	■	74		—			
		住宅・建築物安全ストック形成事業（基幹事業）と合わせ、民間住宅の耐震化等を促進することで、市民が安全・安心に居住できる住環境を実現																				
	C16-004	住宅	一般	北九州市	直接	北九州市	—	—	北九州学術・研究都市住宅市街地基盤整備事業	景観舗装 L=1800m	北九州市	■						30		—		
		北九州学術・研究都市 住宅市街地基盤整備事業（河川整備）の管理用通路を景観舗装することで、遊歩道としても活用																				
											小計							104				

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
地域住宅計画に基づく事業	C15-005	住宅	一般	北九州市	直接	北九州市	—	—	住宅・住環境整備関連調査等	公営住宅等ストック改善事業を推進する上で必要な調査等の実施	北九州市	■	■	■	■	■	14	—	
		公営住宅等ストック改善事業（基幹事業）に関連する調査等を行うことで、事業の円滑な推進を実現																	
		小計											14						
住環境整備事業	C16-006	住宅	一般	北九州市	直接	北九州市	—	—	良質市有建築物ストック形成推進事業	市有建築物の耐震改修	北九州市		■	■	■	■	532	—	
		住宅・建築物安全ストック形成事業（基幹事業）と合わせ、基幹事業の対象要件に満たない小規模な市有建築物の耐震化を図ることで、市民が安全・安心に居住できる住環境を実現																	
		小計											532						
地域住宅計画に基づく事業	C15-007	住宅	一般	北九州市	直接	北九州市	—	—	空き家対策事業	老朽空き家等の除却等	北九州市		■	■			113	—	
		空き家再生等推進事業（基幹事業）と合わせ、基幹事業の対象要件に満たない空き家の除却を促進することで、市民が安全・安心に居住できる住環境を実現																	
		H30上半期から「北九州市住宅・住環境整備計画（第2期）」へ移管																	
		小計											113						
合計											808								

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
北九州市 建築都市局 住宅部 住宅整備課にて事後評価実施		令和4年度	
		公表の方法	
		北九州市ホームページに掲載	

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>・指標②③については、最終目標値に到達、若しくは上回る実績が得られた。          ・指標①については、最終目標値に至らなかったが、基準年と比べ一定の成果が得られた。          ※指標②の最終実績値は、5年毎に実施する「住生活総合調査」から最終目標年度に近い実績値を引用。</p>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	

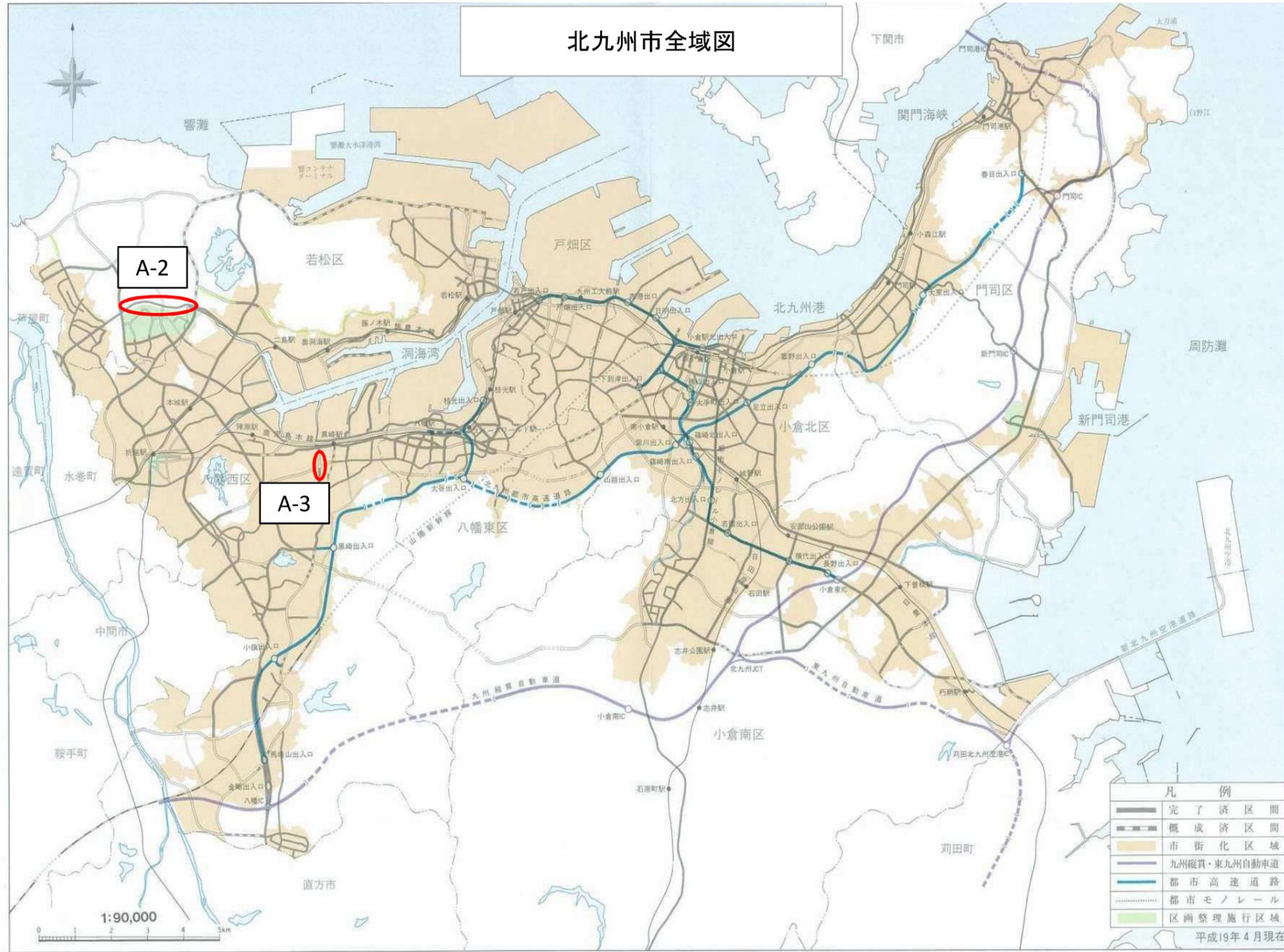
○特記事項（今後の方針等）

・(1)良質な住宅ストックの形成、(2)安全安心で快適に居住できる住宅供給の促進、(3)緊急性の高い施設の安全性の向上、という本計画の目標達成に結びつく住宅・住環境の整備について、今後も総合的かつ効果的な取り組みを継続する。  
 ・第1期計画からの継続的な取組として、令和元年度に「北九州市における安全・安心な住宅・住環境の整備（防災・安全）(第3期)」を策定し、令和2年度からの5ヵ年計画として実施中である。  
 ・市営住宅整備事業等に伴う造成・駐車場整備等は「c-1 公営住宅等整備推進事業」での実施を予定していたが、基幹事業である「A-1 地域住宅計画に基づく事業」としての実施。  
 (※ システム上、実施期間を空白にできないため、仮に平成31年度実施としている。)

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	耐震性が確保された住宅の割合	
	最終目標値	93%
	最終実績値	88%
目標値と実績値に差が出た要因 目標値に向け、耐震化促進や耐震補助事業の普及啓発に取り組んできた。計画策定時から着実に向上しているが、共同住宅等と比べると木造住宅はまだ低く、住宅全体としてみれば目標値に約5ポイント届いていない。引き続き、目標の達成に向けて普及啓発の強化、新たな施策の検討などに取り組んでいく。		
2	住環境に対して満足している市民の割合	
	最終目標値	67%
	最終実績値	72%
目標値と実績値に差が出た要因 北九州市住生活基本計画に基づき、住宅施策を総合的、計画的に推進できたことが目標値を超えた要因の一つと考える。		
3	市営住宅の耐震化率	
	最終目標値	93%
	最終実績値	94%
目標値と実績値に差が出た要因 北九州市公営住宅等長寿命化計画や北九州市公共施設マネジメント計画に基づき、計画的に推進できたことが目標値を超えた要因の一つと考える。		

## ■計画期間内における整備の実績

計画の名称	北九州市における安全・安心な住宅・住環境の整備（防災・安全）		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）	交付対象	北九州市



A-1	公営住宅等整備事業	工区	行政区	構造	戸数	期間
H31 着工	(1) 後楽	4	門司	R 9	45	2年債
					計画期間H27-H31	着工実績 45戸

番号	要素となる事業名
A-1 (市内全域)	地域住宅計画に基づく事業
A-2	北九州学術・研究都市 住宅市街地盤整備事業
A-3	(二級河川) 撥川住宅地盤特定治水施設等整備事業 (都市基盤河川改修事業)
A-4 (市内全域)	住宅・建築物安全ストック形成事業